No.459

広報 みぶ

9年 8月

行程も半ば。作品の方も形になってきました。

やっとできあがり。みんなそろって「いただきます。」

じょうずにできるかな
親子クッキング教室

7月25日（金）、町保健福祉センターで、小学生とお母さんが参加して、町児童館主催の「親子クッキング教室」が行われました。

今回作ったのは、アンズと牛乳、ゼラチンを使い、見た目が目玉焼きそっくりの「目玉焼きケーキ」と、紫色や水色の寒天とピンクの白玉であじさいの花をイメージした「あんみつ」の2品。材料を切ったり、火にかけてかき混ぜたりして、苦労の末にやっとできあがりました。食べるのがもったいない？

発行　壬生町役場　編集 総務部企画財政課　毎月15日発行　〒321-02 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　☎0282-82-1234

農業集落排水事業

住みよい集落をめざして

☆農業集落排水事業に関する問い合わせは
・町経済部農務課 土地改良係
☎82－１２３４ 内線１６９へ

壬生町の下水道は県内でも有数な普及率を誇っています。しかし、農村部の下水道の整備は立ち遅れているのが現状です。

町では、平成6年度より、住みよい集落を目指し、農業集落排水事業による下水道の整備を行っております。

ここでは、農業集落排水事業の概要について紹介します。

農業集落排水事業とは？

汚水による農業被害や集落内の排水路などの農村をとりまく環境を改善し、農村生活が快適におくれるよう、台所、風呂場、トイレなどの水を集めてきれいにする事業です。

農業集落排水事業はどうして必要か？

昔、川はきれいでめだかが泳ぎ、子どもたちは水遊びをして過ごしました。しかし、生活様式が変化するにつれて家庭から出される汚水が増加し、自然の力で浄化することができなくなってしまいました。それによって農作物に被害を与えたり、悪臭などが発生しています。このため、下水道が立ち遅れている農村部において農業集落排水事業を実施し、農業被害の解消と集落環境の改善を図り、住みよい農村を建設することが急務となってきています。

なぜ、集落ごとの排水システムなのか？

人口が集中している都市部と違い、小さな集落が散在している農村部では大規模な排水システムは効率がよくありません。そのため、農村の特性にあわせ、集落単位で効率的に整備する必要があります。

よって、小規模分散型の農村部には、小規模で配管が容易で、中継ポンプなどの付帯施設も少ないなど、総合的にみても経済的な農業集落排水事業が最適になります。

農業集落排水事業の主な内容

◇目　　的　農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設を整備し、農業用用排水の水質保全・農業用用排水施設の機能維持または農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与する。

◇整備対象地域　農業振興地域整備に関する法律に基づく農業振興地域内の農業集落。または、これと一体的に整備することに相当する地域。

◇処理対象排水　し尿・生活雑排水・畜産排水（大規模畜産は除く）・雨水等。

◇処理対象人口　原則として概ね1,000人以下とする。

◇補助対象　受益戸数が20戸以上。

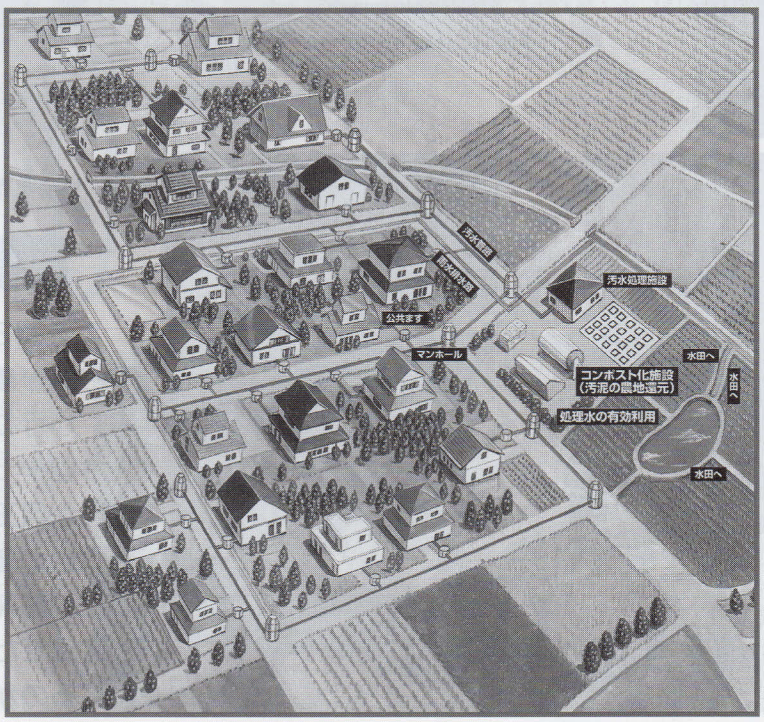
◇排除方式　分流方式(汚水と雨水を分離し、汚水のみを処理施設まで集水し処理する方法)

◇処理水質　ＢＯＤ　20mg/ℓ、ＳＳ　50mg/ℓ 以下。

[BOD:生物化学的酸素要求量。水中の有機物が生物化学的に分解され、安定するために必要な酸素量]

[SS:水中浮遊物質量(水を濁らせる物質の総称)]

農業集落排水事業　排水システム



上田、中泉両地区農業集落排水事業
汚水処理施設工事に着手

住みよい集落を目指した農業集落排水事業の上田地区並びに中泉地区において、汚水処理施設の建設工事着手にさきがけ7月10日、各建設予定地で安全祈願祭が行われました。

上田地区・中泉地区は、壬生町で最初の農業集落排水事業として、平成6年度からマンホール、汚水管などの管路施設工事に着工しており、本事業が完成すると処理面積は上田74ha・中泉68ha、処理人口は上田810人・中泉700人の規模になります。

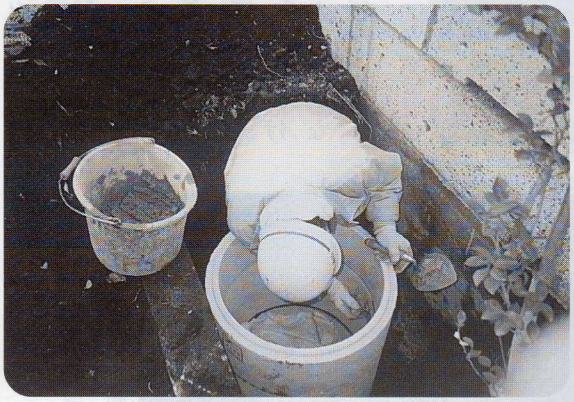
また、処理方式は上田地区が回分式活性汚泥方式、中泉地区が嫌気性ろ床併用接触曝気方式により、処理水質は両地区ともほぼ水質の最高水準まで処理します。

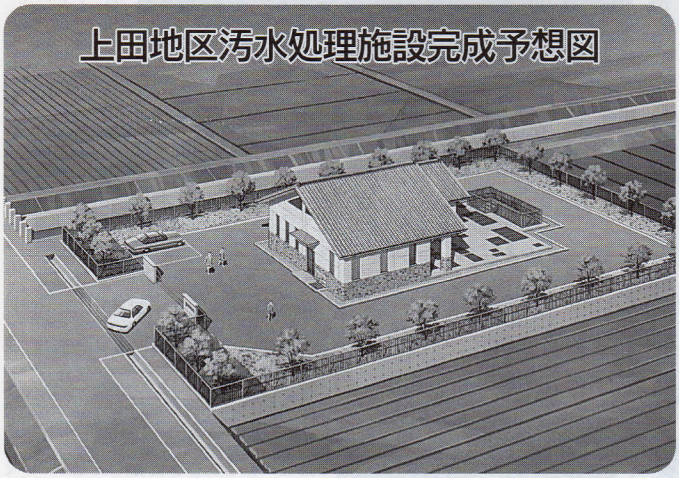
（上田地区）

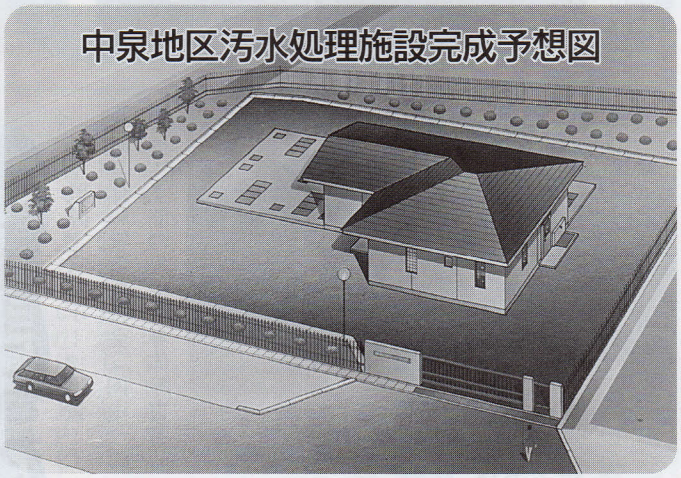
鍬入れの儀式を行う清水町長

農業集落排水事業
管路施設工事のようす

汚水管路工事（マンホール）


汚水管路工事（汚水ます設置）


上田地区汚水処理施設完成予想図


中泉地区汚水処理施設完成予想図

◎両地区汚水処理計画

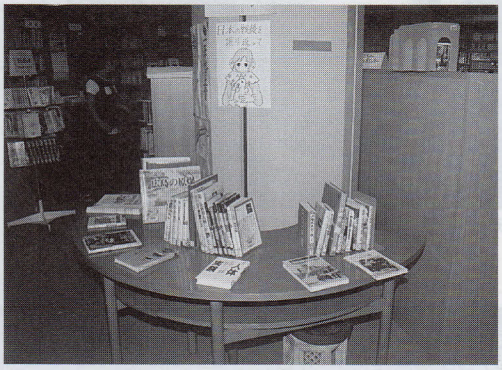
項　目	上　田　地　区	中　泉　地　区
処理面積	74ha	68ha
処理人口	810人	700人
処理戸数	188戸	147戸
日平均汚水量	219m³/day	189m³/day
処理方式	回分式活性汚泥方式	嫌気性ろ床併用接触曝気方式
処理水質	ＢＯＤ…20mg/ℓ（除去率90％）	ＳＳ…50mg/ℓ（除去率75％）

恒久平和はみんなの願い

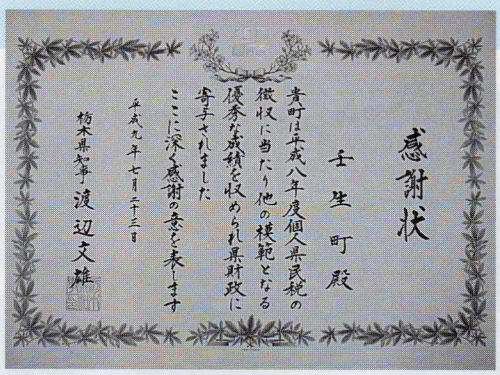
終戦から半世紀を過ぎたにもかかわらず、世界には人命を脅かす紛争が絶えません。

広島、長崎に原爆が投下され、悲惨な体験をした日本は、世界で唯一の被爆国です。その被爆国の体験を通し、平和・核の平和利用は、わたしたちみんなの願いとなっています。

町では、昭和59年6月の定例町議会で恒久平和を願った「非核平和自治体宣言」を決議し、役場正門など3か所に〝核兵器『もたず』『つくらず』『もちこませず』〟の看板の設置や図書館を利用し、〝日本の戦後を振り返って〟などの図書の特集展示コーナーを設け戦争とはどんなものかを訴えるなど、恒久平和を願い行政を推進しています。



▷図書特集コーナー（図書館）


感謝状

壬生町殿

貴町は平成八年度個人県民税の徴収に当たり他の模範となる優秀な成績を収められ県財政に寄与されました
ここに深く感謝の意を表します

平成九年七月二十三日

栃木県知事 渡辺文雄

本町が優良納税町として知事感謝状を受ける

7月23日、栃木県公館において平成９年度個人県民税優良納税市町村に対する知事感謝状贈呈式が行われ、本町が優良納税町として知事より感謝状が贈られました。

これは、個人県民税の収入歩合が県平均を上回るなど、徴収成績が良好な市町村に贈られるものです。

本町の現年度課税分の収入歩合は県平均を上回り、かつ、３年連続して前年度実績を上回るなど、本町並びに住民の皆さまの納税に対する意識、取り組みが高く評価され、今回の受賞になったものです。

渡辺知事より感謝状を受ける清水町長

町身体障害者スポーツ大会
各種目にさわやかな汗を流す

ペタンク競技のようす

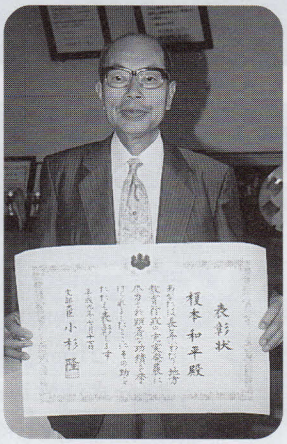
栃木県障害者スポーツ協会・壬生町身体障害者福祉会（田中一男会長）主催の壬生町身体障害者スポーツ大会が7月20日、会員約40名が参加して町総合運動場で開かれました。

この大会は、会員の日ごろの運動不足の解消並びに仲間との交流を深め、友情の輪を広げるために行われているものです。

この日は、県障害者スポーツ協会指導員の指導のもと、鉄玉を投げて標的にどれだけ近付けるかを競うペタンクやフリスビーを投げて輪の中を通すフライディングデスク・アキュラシイなどの4種目が行われ、各種目にさわやかな汗を流しながら取り組んでいました。

榎本前教育長
文部大臣表彰を受ける

前壬生町教育委員会教育長の榎本和平氏が、長年の教育行政における功績により、７月17日に地方教育行政功労者文部大臣表彰を受けられました。



榎本和平氏

榎本氏は戦後間もない時期より教育活動に携わり、昭和49年から62年まで稲葉中学校教頭、羽生田小学校校長、石橋中学校校長等を歴任しました。翌63年より壬生町教育委員会教育長に就任され、平成８年に任期満了により退任するまでの８年間、教育長として壬生町教育行政の発展に尽くされました。

今井バイパスの整備促進を要望

県議会土木委員会現地調査

栃木県議会土木委員会（広瀬寿雄委員長ほか8名）と県関係者の一行が7月30日、現地調査のため来町しました。

今回現地調査を行ったのは、主要地方道宇都宮・栃木線（惣社今井バイパス）で、本路線は、宇都宮と県南西部を結ぶ主要道路で交通量が多く、とくに朝夕の通勤時間帯には交通渋滞をきたしているため、現在一部整備中の、栃木市惣社バイパスに通じる区間（1、743m）の整備促進を要望しました。

この日の現地調査には、町から清水町長ほか町執行部ならびに、松井町議会議長、葭葉建設水道常任委員長が出席、清水町長が現地の状況と要望路線の説明をし、本区間の整備促進を要望しました。

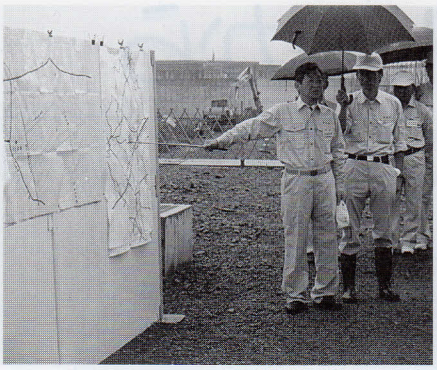
なお、このほか次の4か所についても、整備促進の要望がなされました。

①道路整備
宇都宮・栃木線（国谷・壬生地内）
延長2、560m

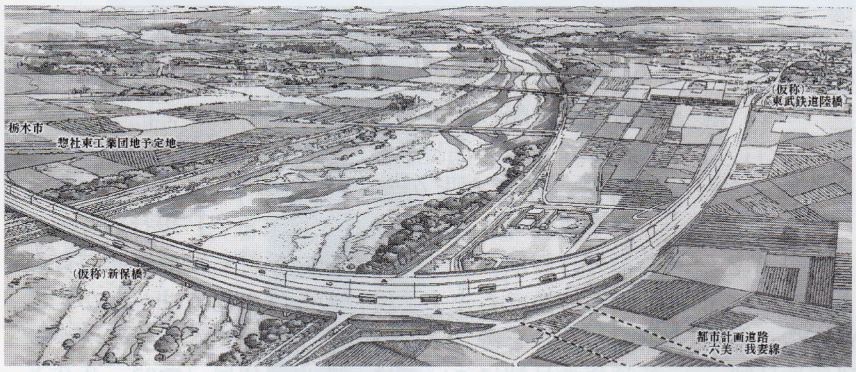
②公園整備
壬生総合公園（国谷地内）
面積　37・2ha

③道路整備
上田・壬生線（助谷・国谷・福和田地内）延長3、000m

④橋梁整備
東雲橋（国道352号・黒川）
延長462m（内橋梁102m）



要望事項の説明を行う清水町長



惣社今井バイパス完成予想図

国民年金情報

老齢基礎年金の繰り上げ受給に当っての留意点

国民年金のうち老齢基礎年金を受給する年齢は65歳です。しかし、繰り上げ支給制度があり、希望者は60歳から64歳までの間に繰り上げて受給することができます。ただ普通より早く年金を受けるのですから、年金を受給する年齢によって、年金額が減額されます。例えば、60歳で受給を開始すれば、65歳で受給する場合の58％の年金額になります。このため、年々繰り上げ受給を希望する方は減少しています。

このように老齢基礎年金は、繰り上げ支給を希望すると年金額が減額され、その割合は生涯変わることがありません。そのほかにも、次のような注意しなければならないことがありますので、繰り上げを請求する際には、十分に気をつけてください。

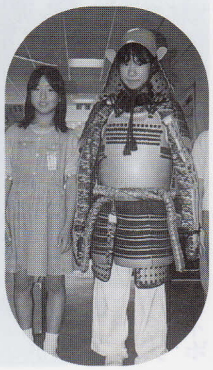
◆繰り上げ請求した後に、障害を受けた場合でも、障害基礎年金は受給できません。
◆寡婦年金は、繰り上げ請求をすると受給できなくなります。
◆厚生年金保険や共済組合の加入期間がある人に60歳から支給される特別支給の老齢厚生年金または退職共済年金は、繰り上げ請求したときから65歳までは支給が停止されます。
◆遺族厚生年金や遺族共済年金受給者が、老齢基礎年金の繰り上げ請求をした場合、64歳まで支給が停止されます。
◆第二号被保険者になったときには、老齢基礎年金は支給停止となります。
◆国民年金の高齢任意加入はできなくなります。

◎問合せ先
町民生部住民課国民年金係 ☎82－1234内線119

五町合同文化財巡回展開かれる

「城」をテーマとした五町（壬生町、石橋町、上三川町、南河内町、国分寺町）合同文化財巡回展が7月10日～19日まで、羽生田小学校を会場に開かれました。

上三川城からの出土品や当時の銭が大量に入っていたカメなどが展示され、特に、羽生田城の地形模型やイラストに熱心に見入る地元の方や、当時の様子を体験してもらおうと設けられた鎧（よろい）（レプリカ）試着コーナーでは、鎧の重さによろけたり、「こんな重いの着て戦いをしたんだね」と、感心する子どもたちの姿が見られました。



子どもたちに人気の鎧試着コーナー▷

平成10(1998)年２月２日(月)から郵便番号が７けたになります

現在の郵便事業は、人の手による作業の割合が高いものになっています。そこで、郵政省では新郵便番号制を導入して一層機械化を進め、効率化を図ることとしました。
平成10年２月２日から全国で郵便番号が７けたになります。

新郵便番号は、原則として、現在の郵便番号を継続して使います。現在３けたの郵便番号には４けたを、５けたの郵便番号には２けたを追加します。

【例】

〈現在〉１５４⇒　《新郵便番号》１５４－００２３
（壬生町役場）

〈現在〉３２１－０２⇒《新郵便番号》３２１－０２９２

◆現行料金の維持と良質なサービスを

郵便事業は、人力に依存する度合いが極めて高く合理化が不可欠とされていました。そこで新郵便番号制を導入し、機械化の範囲を大幅に拡大して効率化を図ることになりました。

新郵便番号とあて名を、機械が読み取りやすいバーコードの形に変えて印字します。このことによって郵便物を配達順に並べるところまで機械化が可能になります。

このような機械化によって、現在の郵便料金をできるだけ長く維持することができます。

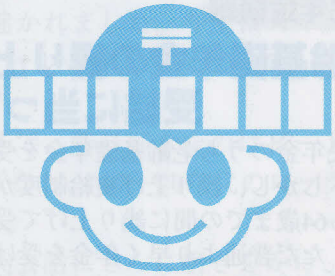
また、将来にわたって良質で安定したサービスが受けられることにもなります。

◆平成９年８月から新郵便番号簿が届きます

平成９年８月から、新しい郵便番号簿が各家庭や事業所などに配られます。ポスターやチラシ、インターネットでも知ることができます。

○官製はがきなどの無料交換

【平成10年１月中旬から３月末まで】現行の郵便番号枠の官製はがき・郵便書簡を、新郵便番号枠のものと無料交換できます。現行の５けた枠のはがきなどは、新郵便番号を書けば使うことができます。そのほか、新郵便番号制については、壬生郵便局（☎82－０９１０）または、関東郵政局（☎03－3243－４５７９）へお問い合わせください。



新郵便番号キャラクター「ポストン」

資料館コーナー

壬生の偉人・義人たち（五）

壬生藩出身
自由民権家、県会議員
鯉沼　九八郎（こいぬま　くはちろう）
１８５８年（安政５年）～１９２４年（大正13年）

少年期壬生藩校に学び、明治期に入り有司専制政治に不満をもち民権運動に参加しました。

１８８３年（明治16年）自由党の危機に、九八郎は独自の道を歩み始め大臣参議の暗殺を考え、加波山事件への第一歩を踏み出します。三島通庸が県令として来県、県庁の宇都宮移転後の県庁開庁式に爆裂弾を仕掛けようとし、製造中に爆発、負傷しました。この時、治療をしたのが同志であり医師である石崎鼎吾です。

これを契機に同志は加波山で挙兵、加波山事件が勃発しました。

これにより裁判に付され、１８８６年（明治19年）15年の刑が決し、同年北海道空知監獄署に収監され、藁工場などの刑役につきました。改悛の情ありとのことで、１８９３年（明治26年）放免されました。

出獄後の１８９９年（明治32年）県会議員となり、以後12年間県政に当たりました。

１９１１年（明治44年）以後は政治に関与せず、宇都宮市で生活し、地方政客の生涯を貫きました。

次回は、壬生の三義人です。

鯉沼九八郎ご夫妻

壬生レッド 壬生東クラブ 共に頂点に立つ

第28回県下学童軟式野球大会

壬生レッド二度目の制覇

優勝の壬生レッドチーム

7月26日から9日間にわたり、宮原球場（宇都宮市）を主会場に県内157チームが参加して行われた第28回県下学童軟式野球大会で、本町から出場の壬生レッドが見事優勝し、深紅の若獅子旗を手中に収めました。

壬生レッドは、1回戦から投手陣の好投と打線の爆発、この両輪がかみ合い勝ち進み、5回戦で全員得点を記録するなど連打攻勢で一気に畳み掛ける戦法で決勝へ駒を進め、箱森町チーム（栃木市）との決勝戦でも、持ち前の勝負強さを遺憾なく発揮し7対0と破り、昭和62年の第18回大会に続く2度目の優勝を果たしました。

なお、壬生レッドは8月19日から3日間、群馬県前橋市ほかで行われる第20回関東学童軟式野球大会に栃木県代表として出場します。

壬生駅から母校へ凱旋パレードする壬生レッドチーム

第25回県学童少女ソフトボール大会

壬生東クラブ初優勝を飾る

8月2日からにしなすの運動公園（西那須野町）を主会場に行われた第25回県学童少女ソフトボール大会で、本町から出場の壬生東クラブが見事初優勝を飾りました。

壬生東クラブは2回戦から登場、準決勝戦までの3試合を危なげなく勝ち進み、準決勝の山園ソフト（田沼町）戦では、3対1と粘られましたがこれを退け、高久クラブ（那須町）との決勝戦は猛打で9対6と振り切り初優勝を果たしました。

なお、壬生東クラブは昨秋の県小学生女子ソフトボール新人大会、5月の全日本小学生男女ソフトボール大会そして今大会と県内3大大会完全制覇を果たしました。

優勝の壬生東クラブ

国谷駅から母校へ凱旋パレードする壬生東クラブ

県弓道近的選手権大会

針谷靖久さん見事優勝

栃木県弓道連盟主催の平成9年度栃木県弓道近的選手権大会が6月15日、宇都宮市弓道場において行われ、本町から男子三段以下の部に出場した壬生町体育協会弓道部の針谷靖久さん（安塚南部）が見事優勝を果たしました。

大会には、県内から90名が出場、競技は矢の当たり数だけを競うものではなく、弓を引く姿勢も審査の対象となり、双方の合計点で順位が決められるという、とても難しい大会です。

針谷靖久さん

い広場

青春スケッチ 75

海中の世界に魅かれる

落合　山田　陽子さん

「この間、シュノーケルを付けて海に潜って、海の中の世界に魅かれました。今度はスキューバダイビングにもチャレンジしてみたいです。」という陽子さん。

音楽鑑賞が趣味で、特に好きなのはビートルズやカーペンターズなど、'60～'70年代のロック・ポップスだそうです。

現在学習中の英会話にさらに磨きをかけ、色々な国を飛び回ってみたいと意欲を燃やしています。

お達者カップル 103

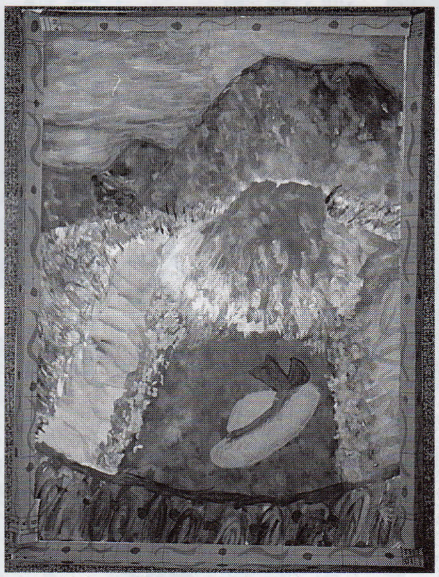
三好町
戸崎　義雄さん（８０）
　　コンさん（７５）夫妻

「健康長寿の秘訣は、何と言っても家庭円満、適度な運動と何ごとにもくよくよせずプラス発想で生きることだと思います。」と語る義雄さん・コンさんご夫妻。

義雄さんの趣味は水墨画、盆栽、

私の作品

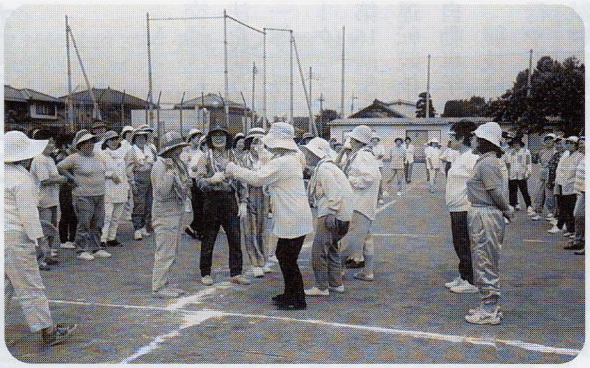
壬生東小学校６年
落　合　淑　恵



「秋の浅間山の自然」

壬生東小学校６年
野　村　佳（か）　南（な）

ふれあ



「婦人会の輪」ゲームのようす

ゲートボール、コンさんの趣味は三味線、民謡、そして義雄さんと同じくゲートボールで、ゲートボールに関しては、義雄さんは1級審判員、コンさんは3級審判員の資格を持っています。そんな多趣味なお二人の部屋には掛け軸、免状、賞状などが数多く掲げられています。

義雄さんは、昭和6年に壬生尋常高等小学校を卒業した後、徴兵検査を受けて海兵団に入団するまでの6年間、東京都内の理髪店で、見習徒弟として修行をしていました。

お二人が結婚したのは戦時中、義雄さんが南太平洋戦線から帰還し、海軍航空廠に在籍していた昭和19年12月のことでした。

戦後は、三好町の現在地に理容所を開店し、「親切・丁寧をモットーに」長年ご夫婦で理容所を営んできました。

4人のお子さんはいずれも独立して、お孫さんは8人います。理容所は現在、長男夫妻が後を継いでおり、2人のお孫さんと合わせて6人で暮らしています。家庭円満で趣味にうちこみ、穏やかな毎日を過ごしています。

壬生町婦人会
笑顔と歓声に包まれた運動会

壬生町婦人会（田中ミヨ会長）主催の運動会が会員約150名が参加して6月22日、壬生小学校校庭で行われました。

この日は、前日までの暑さがウソのように時々心地よい風が吹く、絶好の運動会日和に恵まれました。

競技は、北国の春の曲に合わせての手ぬぐい体操やフォークダンスをしたり、かんぴょう音頭で全員がきれいな輪を作り踊ったり、ジャンケンで参加者全員を相手にして勝ち抜く「婦人会の輪」ゲームなどが行われました。

「婦人会の輪」ゲームでは、150人中1位になり、首にたくさんのレイをかけてもらい大喜びの場面などが見られ、見ているより競技をした方が楽しいと校庭は笑顔と歓声に包まれていました。

なお、開催にあたり前日のテント張りや用具の準備等に壬生小学校の先生方などのご協力をいただきました。

今回、チビッ子アルバムコーナーは、休ませていただき嘉陽が丘ふれあい広場で夏休みを利用して行われた「児童文化教室」の様子をお伝えいたします。

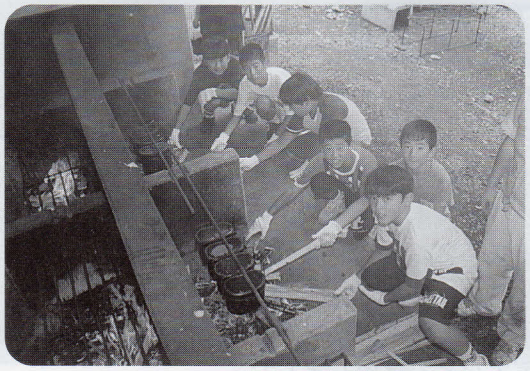
夏休みの思い出
ふれあい広場で宿泊研修

7月31日（木）～8月2日（土）の3日間、嘉陽が丘ふれあい広場で、小学生約60名が参加して「児童文化教室」の宿泊研修が開かれました。

初日は、グループのシンボルとなる班旗を制作したのち、午後は外に出て、ふれあい広場敷地内に自分たちの泊まるテントを設営しました。

つづいて、キャンプ場で野外炊飯が行われ、料理の下ごしらえをしたり炊飯用の薪をくべたりと、暑い中、みんな汗だくになりながら準備に動き回っていました。体を動かしたあと、外で、自分たちの作った料理を食べる、そのおいしさは格別だったことでしょう。

2日目以降も、ウォークラリー、ふれあいプールでの遊泳、自然観察、キャンプファイヤーと盛りだくさんの内容で、楽しい夏休みのひとときを過ごしていました。



汗だくになりながらの飯盒炊さん

ゲームなどで大いに盛り上がったキャンプファイヤー

「チビッ子アルバム」コーナーのお子さんを募集しています。ご希望の方は、お子さんの写真と簡単なメッセージを添えて、町総務部企画財政課広報広聴係（☎82－1234　内線212）までお送りください。

女性ドライバー安全運転競技大会

初心に返ってハンドルを握る

MT車とAT車に分かれ、道路交通法に定められた正確な通行方法を競う町交通安全協会（坂田佐一郎会長）並びに町女性ドライバークラブ（人見イハ会長）主催の第16回壬生町女性ドライバー安全運転競技大会」が7月10日、壬生自動車学校で開かれました。

競技は、右・左折、クランク走行や坂道発進など「運転免許技能試験実施基準」に基づいて行われ、今回の大会から高齢者の事故防止を図るため、シルバー女性ドライバーの部も登場。選手たちは初心に返って、自動車学校検定員のきびしい審査に挑んでいました。

成績

《MT車の部》

優勝　越路　治美（釜ケ渕）
準優勝　永倉　恭子（下表町）

《AT車の部》

優勝　大橋　葉子（東下台）
準優勝　高山　朝子（上長田）

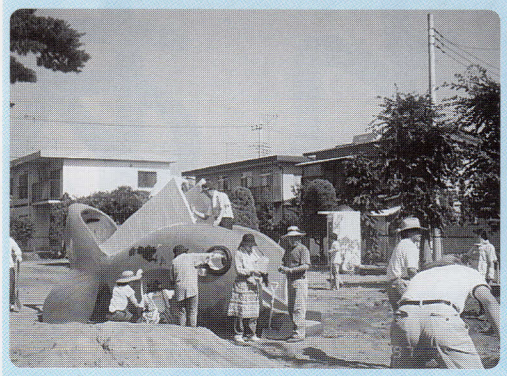
《シルバー女性ドライバーの部》

優勝　吉田サク江（上表町）
準優勝　久賀　和代（幸町四丁目）

なお、成績上位者は9月1日、壬生自動車学校で行われる栃木地区女性ドライバー安全運転競技大会に出場します。

競技の説明を聞く参加者

緑町二丁目



公園清掃に汗を流す

緑町二丁目自治会・育成会では7月6日、自分たちの公園は自分たちの手できれいにと「おもちゃのまち第1児童公園」（金魚の公園）の清掃奉仕に汗を流しました。

落書きが目立っていた公園のシンボルである金魚型の滑り台などもきれいに塗り替えられ、これからもますます子どもたちを喜ばせることと思います。

商工会婦人部

壬生町商工会婦人部（林光代部長）では7月18日、東雲児童公園及び公園周辺の清掃を行いました。

これは同婦人部の奉仕活動並びに環境美化運動の一環として、毎年行われているもので、この日は早朝から婦人部会員約30名が参加し、約2時間にわたり空き缶やゴミ拾い、雑草取りに汗を流しました。

高齢者交通安全教室

交通安全の意識を高める

城南長寿会(中村為明会長)では、町女性ドライバークラブの協力を得て7月23日、城南公民館で交通安全教室を開きました。

県内の交通事故死亡者の32%が高齢者ということで、高齢者の事故の特徴や道路上でとりがちな行動の事例、注意点などを人見町女性ドライバークラブ会長、栃木警察署の加藤交通係長による講話やビデオなどで学習しました。

交通安全教室のようす

講話の後、多数の質問が寄せられ、参加者の交通安全に対する関心の高さがうかがわれました。また、同地区内の道路での危険な個所などを話し合ったりし、交通安全に対する意識を高めました。

寄付

（社会福祉協議会）
（○数字は寄付回数）

金10万円①
東武鉄道株式会社
壬生駅長　前原康弘様

金8千156円⑮
稲葉地区カラオケ愛好会様

金1万円⑨
（株）県南環境様

八坂祭（7月7日～16日）

笛や太鼓の奏者が乗った大きな屋台や、掛け声も勇ましく道路狭しと練り歩くみこしが、祭りに集まった大勢の人々の注目を集めていました。

納涼祭（7月23日いなば保育園）

かわいい浴衣姿の園児たちが、先生といっしょに輪になって元気よく踊りました。

児童館夏まつり（7月19日）

元気よくみこしを担ぐ子どもたちやスイカ割りを楽しむ子どもたち。

母親クラブの皆さん、児童委員さん、六美第一あけぼの会の皆さんの協力を得て行われた児童館夏祭りは、子どもたちの歓声に包まれていました。

地蔵まつり（7月19日壬生寺）

見事な「円仁太鼓」の演奏を披露する子どもたち

文芸

文化協会文芸部選

短歌

物干に羽を休めている蜻蛉
夕づく空に何思い居ん　渡辺真夕美

蛙鳴く知恵子の泉に湧く水を
両手に掬い喉をうるおす　南城　敏夫

雨の中横断歩道を足曳きて
ゆく人のありわれと同じに　奥村　トシ

久々に東京の街を歩きおり
都会の人のような顔して　和久井　香

俳句

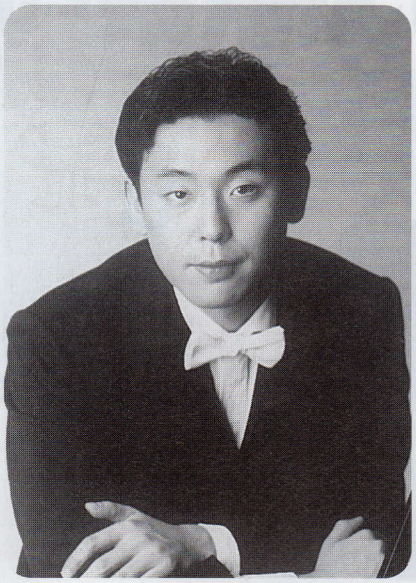
ハンケチを振りて夕風誘いけり　山木八重子

定年の日もハンケチは胸にあり　高田　昭夫

食慾の今朝もすすまぬ暑さかな　海老沼勘一

ハンケチを小さくたたむ別れかな　広沢　ツヤ

前橋汀子&横山幸雄 ジョイントコンサート



☆日　時　12月7日(日)
開場：午後6時
開演：午後6時30分

☆会　場　壬生中央公民館
（城址公園ホール）

☆入場料　A席:3,000円（指定席）
B席:2,000円（自由席）

※入場券は、9月5日より、壬生中央公民館、稲葉・南犬飼出張所、財団法人壬生町施設振興公社（総合公園内）で取り扱います。

〈未就学児の入場はできません〉

☆主　催　財団法人壬生町施設振興公社

☆後　援　壬生町教育委員会

☆問合せ先
・壬生中央公民館 ☎82-0108

参加しましょう！ 両親学級

町では、新しくお父さん・お母さんになられる方を対象に両親学級を開いています。

この教室は、妊娠中の体の変化やあかちゃんのお風呂の入れ方、おむつのあて方などを両親が揃って勉強するものです。

6月28日に行われた教室では、沐浴人形を使いお風呂の入れ方やミルクの与え方などを実習、ぎこちない手つきながら真剣に取り組むお父さんや心配そうに見つめるお父さんも沐浴に挑戦

お母さんの姿が見られました。

今後の両親学級は、次の日程で行いますので、新しくお父さん、お母さんになられる方、ぜひご参加ください。

◎両親学級日程（午後1時30分～3時30分）
◇9月27日(土)保健福祉センター
◇12月19日(金)　〃
◇3月27日(金)　〃

◎問合せ先
・町民生部保健課健康増進係
☎82―1234内線110

参加しよう！ ウィークエンド・サークル

7月12日(土)嘉陽が丘ふれあい広場で小学生の親子が参加、ジャンケンゲームなどを楽しみました。

これは、学校が休みの第2・第4土曜日を中心に町内の小・中学生を対象とした「ウィークエンド・サークル活動」の一つです。これからもグランドゴルフやインディアカ、紙飛行機作り教室などが予定されています。

ぜひ一度、親子で参加してウィークエンドの楽しい一時を過ごしてみませんか。

◇問合せ先
・町教育委員会社会教育課
☎82―0934

ゲームを楽しむ参加者

9月の納税等

●国民健康保険税（3期）
●国民年金（9月分）
納期限（9月30日）

納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。

まちのうごき

8月1日現在

総人口	40,090人	（ 11）
男	19,725人	（ 5）
女	20,365人	（ 6）
世帯数	12,660世帯	（ 21）

（ ）内は前月比